

副理事長基本方針

副理事長 児玉 裕

別府青年会議所はこれまでに、数々の地域社会への貢献をはじめ、地域に誇れる数多くの人財を輩出してまいりました。しかし過去5年間に多くの先輩方が御卒業をされ会員の減少とともに経験、活動歴が少ない新入会員が多く存在します。我々が円滑な組織運営の基盤を構築し、会員一人ひとりが「奉仕・修練・友情」の三信条のもと、オピニオンリーダーとしての自覚を持ち、新たなる挑戦へと踏み出していくことが責務であると考えます。

まずは、会員一人ひとりが自己研鑽を重ね、JAYCEEである前に地域社会を支える一人の青年経済人としての資質と認識を高めると同時に、組織としての規律を徹底することで、別府青年会議所としての組織力の向上を図ります。そして、様々な活動や運動に取り組む際に、各自が周りの状況や内容を把握することで事業へ参画する意識を醸成します。そのような高い意識のもと、現在の地域社会には何が必要であるのかを的確に捉えることのできる、先見性の高いリーダーを育成致します。さらに、我々が地域社会の発展を牽引するオピニオンリーダーであるという自覚を持ち、地域社会を見つめることで、市民へ実効性の高い運動を発信します。また、青年会議所として市民意識の変革を促すことのできる事業を展開し、「まち」における別府青年会議所の存在と理解を深めていただき、地域社会の発展と会員の拡大を目指します。そして、今一度先輩方の築いてこられた歴史を振り返り、熱き想いと伝統を継承し、それを力に変え若者らしく失敗を恐れず何事にも挑戦しオピニオンリーダーとして、この地域においてなくてはならない組織へと進化します。

最後に、自らを律することのできる人財が集い、規律の徹底が図られた意気溢れる組織が一体となり、気概と信念を持ち次世代へ向け踏み出します。我々が踏み出したその新たなる一歩一歩が、未来のこの地域において明るい社会を築く礎になると確信しております。